

Beyond Graphene

例えば、モリブデン等の遷移金属と硫黄等のカルコゲン原子から構成される遷移金属ダイカルコゲナイドはグラフェンほどではないが究極の薄さを持つ半導体材料であり、高い導電性、高いキャリア密度、直接遷移形であるため光デバイスに応用が期待されています。このような二次元材料に焦点を当て、グラフェンの性能・応用を上回る可能性を持つ新材料のブレークスルーを目指すべく、最先端の研究内容についてご紹介いただきます。

日時 2024年3月24日(日) 13:30～17:45 [予定]

会場 東京都市大学 世田谷キャンパス&オンライン [予定]

プログラム案(敬称略)(招待講演30分、一般講演15分)

1. 【招待講演】吾郷 浩樹 (九州大学)
二次元物質から「2.5次元物質」の創出へ
2. 【招待講演】加藤 俊顕 (東北大学)
その場観測プロセスを活用した2次元原子層材料の高品質合成とヤヌス化
3. 【招待講演】松田 一成 (京都大学)
二次元半導体人工ヘテロ構造における光科学とその応用
4. 【招待講演】大久保 将史 (早稲田大学)
MXeneの蓄電機能
5. 【招待講演】柚原 淳司 (名古屋大学)
14族ポストグラフェンの創製と構造解析
6. 【招待講演】長田 実 (名古屋大学)
酸化物が拓く新しいフラットランド
7. 【招待講演】杉本 宜昭 (東京大学)
走査プローブ顕微鏡による低次元材料の構造解析と操作

一般講演も募集します

世話人

内藤 正路 (九州工業大学)
住友 弘二 (兵庫県立大学)
小川 友以 (NTT 物性研)

企画

薄膜・表面物理分科会
大分類17(ナノカーボン・二次元材料)